

日本体育図書館協議会

2015年度 研修会

(オープンセミナー)

- 日 時 2015 (H27) 年 11 月 16 日(月) 13:30~16:20 (13:00 受付開始)
- 会 場 日本体育大学図書館閲覧室 (東京都世田谷区深沢7-1-1)
<http://www.nittai.ac.jp/access/tokyo.html>
- テーマ 「2020年、どうなるNACSIS-CAT?」

「これからの学術情報システムの在り方について」(2015.5.29)によると、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の下に設置された「これからの学術情報システム構築検討委員会」(略称:これから委員会)では、電子情報資源の普及により学術情報を取り巻く環境にさまざまな変化が起きているとして、特に NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化を最重要課題として、①統合的発見環境の提供、②他機関(出版者、NDL、OCLC 等)との連携によるメタデータの標準化と相互利用、③学術情報資源の確保の3点を推進していく必要があるとしています。

*

今年度の体図協研修会では、「これから委員会」のメンバーであるお二人をお招きしました。呑海沙織氏(筑波大学)には、研究者の立場から少し先を俯瞰する話題提供をお願いしました。熊渕智行氏(東京大学附属図書館)には、直前の図書館総合展シンポジウムでの議論を含めて、委員会での根本的な見直し議論の現段階について、講演をお願いしました。

二つの講演をオープンセミナーとして用意することで、学術情報世界での「目録や検索のこれから」をキーワードとするこのテーマを、ともに考える場にしていきたいと思ひます。

■ 研修会日程

13:00~

受付 * 図書館見学は、この時間帯をご利用ください。

13:30~

開会あいさつ・事務連絡等

13:35~14:35

★講演① : 呑海沙織氏(筑波大学)

「利用者の情報『発見』環境はどう変わっていくか」(仮題)

14:35~15:35

★講演② : 熊渕智行氏(東京大学附属図書館)

「NACSIS-CAT/ILLの根本的な見直し—『これからの学術情報システムの在り方について』(2015.5.29)を中心に」(仮題)

15:35~15:50

休憩

15:50~16:20

質疑応答・ディスカッション

事務連絡・閉会

* 17:00~18:30(予定): 懇親交流会(希望者)